

令和7年8月27日（水）令和7年度9月補正予算（案）

記者会見 質疑応答要旨

鳴門市まちなか未来ビジョン策定推進事業

（記者）

鳴門市まちなか未来ビジョン策定推進事業の内容（予算内訳等）について教えてください。

（市長）

ビジョンを見ていただくため、可視化することを考えています。そのためのパース作製や、専門的な見地からのご支援と、期間限定のまちなかでの社会実験を含めて 2,500 万円を想定しておりますが、事業費はこれから精査していきます。

RS ウィルス感染症重症化予防事業

（記者）

RS 感染症重症化予防事業の全国事例の 1 例目はどこでしょうか。これまでの経緯等を含めて教えてください。

（市長）

高知県須崎市が 1 例目であり、このことを知った市医師会から鳴門市でもできないか、ということでご相談をいただいております。費用は市が負担し、1 年間の出生数約 220 人分の予算を確保したいと考えています。

(記者)

助成とあるが、全額補助するということによいでしょうか。須崎市は製薬会社と協力するようになっていましたが、鳴門市の場合はどうでしょうか。

(市長)

お金を払うことなく事業を利用いただけます。予算上、一人あたり5万円の費用を想定しております。鳴門市は医師会及び製薬会社との3者での形になると思います。実施方法は少し須崎市と異なるかもしれません。

(記者)

使用するの、須崎市での事業で用いられている薬剤と同じものでしょうか。

(市長)

同じ薬剤での実施を想定しています。

給食費無償化事業

(記者)

給食費無償化事業の期限がありますが、これは3月で終わりということでしょうか。

(市長)

国のほうで、来年度に小学校の給食費無償化が実施される方向

性が示されていますが、現在も無償化にあたり様々な議論が行われているところでは、鳴門市としては、まずは3月まで物価高騰対策として給食費無償化を実施し、その後は国の動向を見ながら考えていきます。鳴門市在住で、市外の学校に通学している方も、同等の支援を行います。

(記者)

給食費無償化事業について、これまでの対象であった中学3年生以外にも拡充するということでよいでしょうか。

(市長)

対象を中学3年生以外にも拡充します。これまでは財政的な負担の考慮と、高校受験等を踏まえて負担を軽減したいということから、中学3年生を対象としていました。事業継続することで公平性も担保できると考えて実施していました。